

令和5年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢泉丘高等学校（通信制課程）

学校長 岡橋 勇侍

1 教育目標

心身一如の発達につとめて

真理を求め、勉学を第一義とすること

情操を豊かにし、自らの品位を高め、他者の人格を重んずること

正義を愛し、誠実にして、社会から信頼されること

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 近年の通信制を取り巻く環境は著しく変化し、様々な入学動機や学習歴をもつ生徒が通う学校となっている。中でも増え続けている不登校経験者への対応は主課題の1つである。
- ② 生徒の年齢層に幅はあるが、活躍生の中心は10代の生徒であり、近年80%前後で推移している。
- ③ 4月の新入、転入、編入生に加えて、9月の転入生も年々増加しており、転編入生数は活躍生の80%程度を占めている。
- ④ 入学はするが、途中で学習を継続できない不活躍生が依然として多く、卒業後の進路の定まらない者も多い。また、活躍生においても基礎学力が定着しておらず、単位の修得が困難な生徒もいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① GIGA スクール構想を踏まえつつ、学習意欲を喚起し計画的な学習に努めさせるとともに、ICTを活用した面接指導（スクーリング）や基礎学力を伸ばすための有効な報告課題（レポート）の研究や開発を行う。
- ② 豊かな個性、心を持ち、生涯にわたって自ら学び、これからの知識基盤社会に適応してたくましく生きる力を育成する。
- ③ 進路ガイダンスを充実させ、進路意識の高揚を図り、個々の適性と能力に応じたキャリア教育を推進する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員個々の教育力を充実させるとともに、通信制教育の問題点を理解し、教育目標の具現化と達成を計画的、継続的に実施していく。
- ② 各分掌を機能的・効率的に運営し組織的な取組を行うことで、教職員がワーク・ライフ・バランスを維持できるようにする。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒への学習支援を積極的に行い、家庭の理解と協力を得ながら報告課題の提出状況や出席日数の改善を図り、単位の修得率を上げる。その際、ホームページ等の改善や有効活用により情報発信の充実を図る。
- ② 基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚、自他の生命を尊重する態度の育成を図るため、時間厳守や適切な言葉遣いの励行、法やきまりの意義の理解と遵守など、学校内外を含めた生活行動を見直し、改善を図らせる。
- ③ 生徒一人一人の生活状況を把握し、教職員間で共有することにより、組織的に支援する体制をつくる。
- ④ 各種業務の平準化と効率化を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現する。
- ⑤ 卒業後の生き方を考えさせ、生徒の能力・適性を踏まえた進路指導やキャリア教育を行い、就業率や進学率を高める。